

スクエア SQUARE

特集

絵本大好き！ ～絵本の中の女の子・男の子～



モクゲンジ



ネムノキ



サルスベリ

清瀬で夏に見ることができる花木（撮影場所は裏表紙）

アイレックだより

女性のココロとからだの講座

第1回 「性差医療」から考える「女性の健康」

第2回 「人との関係」から考える「女性の心」

アイレックセンターの紹介

清瀬市男女平等推進条例

Information

アイレックからのお知らせ

- ・DV防止講座
- ・第16回アイレックまつり
- ・バザー用品提供のお願い

特集

絵本大好き！

～絵本の中の女の子・男の子～

（木下）

絵本は子どもの成長にとって、かけがえのない贈り物と言われています。子どもは絵本の主人公に自分を置き換えてワクワク、ドキドキしたり、お気に入りの絵本を繰り返し、繰り返し、何度も読んでもらつたりして、楽しみます。また、読んでくれた人のぬくもりや過ごした時間が、心に宝物として残ります。

しかし、その絵本の内容が「女子らしく」「男の子だから」のような性別による固定的な見方や役割が、印象的だつたら：大人が気づかないうちに、そうした価値観を子どもに伝えてしまっているのかもしれません。

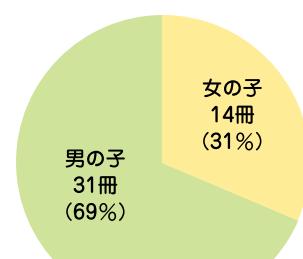
昨年12月に策定された「第3次男女共同参画基本計画」では、重点項目として、子どもたちが「子どものころからの男女共同参画についての理解の促進」、また「男性にとっての男女共同参画の意義についての理解の促進」があげられています。こうした視点からも、今回絵本に注目してみました。

絵本は子どもの成長にとって、かけがえのない贈り物と言われています。子どもは絵本の主人公に自分を置き換えてワクワク、ドキドキしたり、お気に入りの絵本を繰り返し、繰り返し、何度も読んでもらつたりして、楽しみます。また、読んでくれた人のぬくもりや過ごした時間が、心に宝物として残ります。

しかし、その絵本の内容が「女子らしく」「男の子だから」のような性別による固定的な見方や役割が、印象的だつたら：大人が気づかないうちに、そうした価値観を子どもに伝えてしまっているのかもしれません。

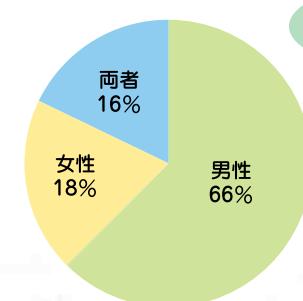
絵本の中の女の子・男の子

子どもが主人公の場合の性別内訳



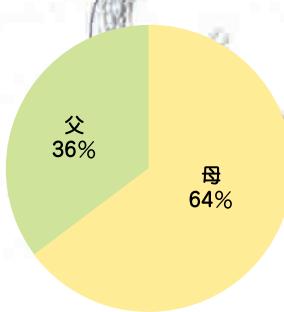
<子どもが主人公の総数45冊>

物語の主人公の内訳



圧倒的に
男性が多い

主人公の母親・父親の登場内訳



主人公は男の子が多いのにもかかわらず、かかわる大人は「女性」性である母親が多く、特に男の子と母親の組み合わせが多い。男の子が想像力豊かに冒険の世界で活躍し、最後に現実に引き戻す、あるいは温かく迎え入れる役割を母親が担っている組み合わせがパターンとして存在し、人気のある絵本として定着していることに気づいた。

※絵本100冊読んでみえてきたもの
(2002 報告書から)
NPO法人SEAN(シーン)発行
<http://www.npo-sean.org/>

子どもが主人公の絵本のうち、その人物像をみると、男の子は想像力豊かで好奇心・競争心旺盛、行動力に富んでいるが、女の子が主人公の場合は想像力や好奇心が表現されていることが多い。また、自己主張し行動的であっても、特異な個性として扱われており、お世話役として登場するものが多く、性別による人物像のバランスに偏りがみられた。

子どもたちが何度も読み返す絵本には、どんな主人公が登場するのでしょうか。どんな家族が描かれているのでしょうか。冊の絵本の中の、女の子と男の子の割合、また母親と父親の割合を調べた資料※から、みてみました。

母親が絵本を買ったり、読み聞かせをすることが多いようです。しかし父親や祖母も少数ですが入っています。家族それぞれ違った絵本の選び方、読み方を楽しんでいるのではないのでしょうか。

我が家では休日に父親が読むことがあります。子どもたちは大興奮。いつもと違った声のトーンや読み方に同じ絵本でもまるで違ったお話のように聞こえるのが不思議です。さまざまな人と、さまざまな絵本タイムを。読んでもらう方も、読む方にとっても至福の時間です。



子どもの本は主に誰が買うか？



誰が読み聞かせをしているか？

- 1番目に多い人 母親…26名 祖母…2名 父親…1名
- 2番目に多い人 父親…18名 母親…3名 祖母…2名 姉…1名
- 3番目に多い人 父親… 5名 祖母…4名 おば…1名

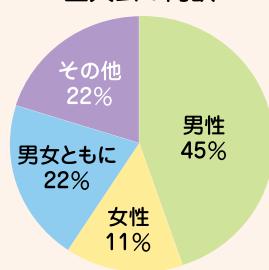
アンケート協力者
K-net 子育てひろばに参加した母親のうち30名

絵本についてのアンケート結果

我が家の中の絵本

母・父・男児7歳・女児4歳
絵本64冊

主人公の内訳



子どもがお腹にいる時から購入したりプレゼントされたりと集まった絵本。主人公の性別を気にしたことがなく、面白いものを選んでいましたが、男性が主人公の絵本が圧倒的に多かったとわかり、驚きました。

主人公を男の子にすれば、「男らしく」冒険、発見、好奇心、想像性など思いのままに発想できるのに対して、女の子は「女らしく」やさしい、かわいらしい、控えめの枠の中で、面白いストーリーになりにくいため、男の子が主人公に選ばれるケースもあるようです。

けれども現実には、いきいきと好奇心を働かせ、冒険もすれば、想像性にあふれた女の子がたくさんいるのではないかでしょうか。実際に私も幼い頃、あちこち遊びまわり、冒険ものの絵本をよく読みました。その主人公は男の子ばかりでしたが、女の子だったらもっと共感できていたかもしれません。また逆に、やさしく、花や小さな動物が好きな男の子もいます。私たちの周りに、そんな子どもたちはいませんか？

ぜひとも元気な女の子や、やさしい男の子、父親が子育てにかかる絵本などがたくさん出版され、人気のある定番絵本になってほしいものです。



絵本にみるお母さん・お父さん

育児は、女性のみが担うのでなく、働く男女がともに担うという「育児休業法」が1991(平成3)年に成立し、何回かの改正を重ねています。そうした世の中の移り変わりとともに、お母さん、お父さんの子どもへのかかわり方も大きく変わつてきました。その様子を、同じ作者が描いたこの2冊の絵本からも、みることができます。

『おかあさんがおかあさんになった日』



長野ヒデ子・作
童心社
1993年発行



長野ヒデ子・作
童心社
2002年発行

予定日が過ぎたのに赤ちゃんが生まれないので、お母さんは入院することになりました。お医者さんに少し運動した方がいい→

『おかあさんがおかあさんになった日』

お父さんは、3番目の赤ちゃんが生まれるので、今度は育児休業を取ることにしました。

育児休業を取る日、上司や仕事仲間から「すごい」「がんばれ」「元気な赤ちゃんを」などのエールをたくさんもらいました。

しかし、読み手をほのぼのとさせてくれます。

お父さんとお母さんは、自分

のうちで、家族みんなで、赤ちゃんを迎える決心したのです。やがてみんなで新しい家族

いですよと言われ、ひとりで病院内を散策しました。

赤ちゃんが生まれそうになつた頃、お父さんは病院に駆けつけてお母さんに付き添い、一生懸命励ました。そしてかわいい赤ちゃんが生まれたとき、お母さんは、うれしくて胸がいっぱいになり、涙があふれました。

お母さんが初めてお母さんになつた日です。

それから9年後…。

『おとうさんがおとうさんになった日』

お父さんは、3番目の赤ちゃんが生まれるので、今度は育児休業を取ることにしました。

お父さんは、3番目の赤ちゃんが生まれるので、今度は育児休業を取ることにしました。

育児休業を取る日、上司や仕事仲間から「すごい」「がんばれ」「元気な赤ちゃんを」などのエールをたくさんもらいました。

しかし、読み手をほのぼのとさせてくれます。

お父さんとお母さんは、自分

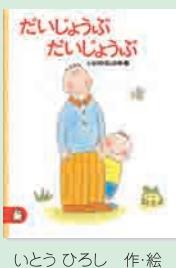
のうちで、家族みんなで、赤ちゃんを迎える決心したのです。やがてみんなで新しい家族

絵本の楽しさと「女らしさ」「男らしさ」にとらわれない視点で「いいな」と思った絵本を紹介します。

(安達)

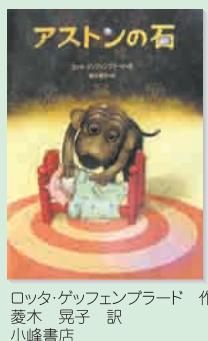
いですよと言われ、ひとりで病院内を散策しました。

赤ちゃんが生まれそうになつた頃、お父さんは病院に駆けつけてお母さんに付き添い、一生懸命励ました。そしてかわいい赤ちゃんが生まれたとき、お母さんは、うれしくて胸がいっぱいになり、涙があふれました。



いとうひろし 作・絵
講談社

◆見守ってくれる人がいるから『だいじょうぶだいじょうぶ』



ロッタ・ゴッフェンブラード 作
菱木晃子 訳
小峰書店

おすすめの絵本

『アストンの石』 ◆やさしい男の子のお話

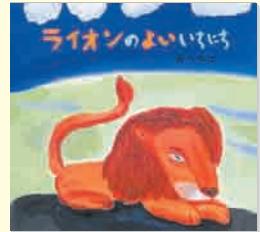


ぼくが小さい時から、おじいちゃんはよく散歩に連れて行つてくれました。途中怖いことや困ったことに遭遇すると、そのたびにおじいちゃんはぼくの手を握つて「だいじょうぶだいじょうぶ」と言つてくれます。今度はぼくが病に伏すおじいちゃんの手を握つて「だいじょうぶだいじょうぶ」と。静かに成長を見守つてくれる人の存在がどんなに元気づけられるのか、ほのぼのとした絵からも伝わってきます。



アンソニー・ブラウン 作
藤本朝巳 訳
平凡社

◆家族つていろいろだよね『おんぶはこりごり』



あべ弘士 作・絵
校成出版社

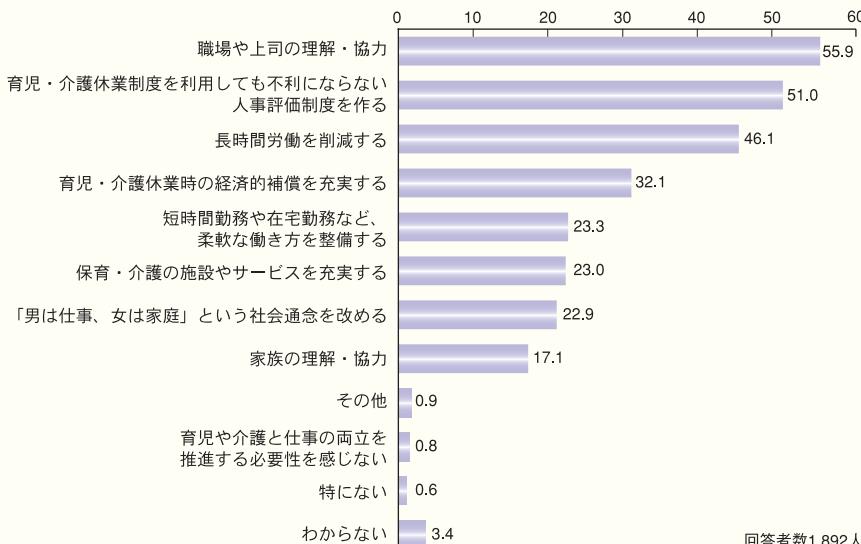
『ライオンのよいいちにち』

ライオンの父さんが子どもたちと一緒に散歩に行きました。途中出会った動物たちに、うらやまがられたり、ほめられたり。でも父さんライオンは、子どもと一緒にいるのが好きなだけ。のんびり昼寝をしながら見ると、遙か彼方で母さんライオンがシマウマを追っています。アフリカの大地にふさわしい大胆な構図と色彩。家族のために働くことを期待される男性の肩の荷を軽くしてくれる?

世話をしています。「ごはんまだー」と当然のように言う家族にうんざりして、ある日突然家を出でてしまいます。そこで、初めて「自分のことは自分でしなければ」と気づくパパと子どもたち。絵の中には、ユーモアあふれる仕掛けがたくさんあります。探してみませんか?

育児や介護と仕事の両立を推進するために必要なこと(男性の回答)

育児や介護と仕事の両立を推進するためにはどんなことが必要だと思いますか。
特に必要だと思うことをこの中から3つまでお答えください。



男女平等参画に関する世論調査 平成23年5月 東京都生活文化局

を迎えた。かわいい赤ちゃんが生まれて、お父さんはもつともっとお父さんになりました。

「平成21年度雇用均等基本調査」(厚生労働省)によると、育児休業を取得した女性85.6%に對して男性は1.7%でした。この差をみると、まだまだ絵本のよ

うにはいかないようです。『おとうさんがおとうさんになつた日』や左図のように、職場や上司の理解や協力は、育児休業取得のための大重要なポイントです。また、こんな絵本を読んだら、育児休業を取ることにためらいを感じない男性たちが、増えていくかもしれませんね。(伊藤)

『パパのカノジョは』



ジャニス・レヴィ 作
クリス・モンロー 訳
岩崎書店

パパの新しい彼女を女の子の目から描いています。パパが連れて来た「カッコわるいカノジョ」と一緒に暮らすことになり、そんな彼女を厳しい目で見ていましたが…。家族の形が多様化している現代、少女の微妙な心理を、力のある絵と、ユーモラスな文で描いているアメリカの絵本です。

◆すてきな女性の生き方
『だつてだつてのおばあさん』

さく・え
佐野 洋子
フレーベル館

98才のおばあさんと元気なねこの物語。「だつて私は98才だもの」とおばあさん。しかし99歳の誕生日のローソクが5本しかなかったことから5歳の気持

ちになつたおばあさんは…。とがきの中で著者は「おばあさんは一番たくさんのお孫さんの心を持つてるので、たくさんのおばあさんにこの絵本を送りたい」と書いています。

『ルピナスさん』



バーバラ・クーンー
かけがわ やすこ やく
ほるぶ出版

幼い頃アリスは、おじいさんと「遠くに行く」「海のそばの町に住む」「世の中を美しくするために何かをする」と、3つの約束をしました。そこで世界中を旅行し、海を見下ろす丘の小さな家に住むようになりました。そして、世の中をもつと美しくするために村中をルピナスの花でいっぱいにするというステキなことを思いつきました。種をまき続けて、いつしかアリスはルピナスさんと呼ばれるおばあさんになりました。独立心にあふれたひとりの女性の人生が、色の変化とともに

まとめ

被災地の子どもたちへ、楽しい時間を過ごしてほしいと、全国からたくさんの手紙と絵本がプレゼントされました。読んでもらい、手にした子どもたちは、目をきらきらさせました。絵本には特に大きな力があるようです。今回の特集で、女の子だけは、男の子だからということにとらわれない視点で、あらためて絵本を選んでみると、多くの楽しい絵本と出会うことができました。

今、混迷した社会状況の中、私たち大人も絵本を読み、忘れていた心の何かを自分で自身に問い合わせみてはいかがでしょうか。

また「わたしはわたし、あなたはあなたでいいんだ」といった感覚を育める、多様な生き方や、考え方がバランスよく表現された絵本を子どもたちに届けたいものです。



(下神)